

【事業実績】よこはま縁むすび講中

(1)地域文化圏醸成事業

①地域の活動団体・ユニークベニユーの洗い出しおよびリストの作成

各区の地域資源について、活動団体や史跡、交流のきっかけとなるイベントなど、横浜国立大学大原研究室の協力のもと調査した結果をまとめた資料を制作しました。

②地域と本事業をより深く知るためのコラム記事、動画の制作

地域情報を発信するウェブメディアである「森ノオト」による4本の記事を制作しました。またコラム記事公開を告知するテレビCM用の動画を制作しました。

③ウェブページの制作および公開

①、②の情報および(2)の各イベント情報をウェブページとして公開しました。一部、後述。

①<http://yokohama-enmusubi.jp/report/resource-survey.html>

②http://yokohama-enmusubi.jp/report/yokohama-culture-series_01.html

http://yokohama-enmusubi.jp/report/yokohama-culture-series_03.html

http://yokohama-enmusubi.jp/report/yokohama-culture-series_04.html

④メディアと連携した情報発信

博物館機能の強化として、神奈川・横浜の地域メディアである tvk などを活用して「よこはま縁むすび講中」の情報発信を行いました。コラム記事公開にあわせて、スポットCMを放映しました。

(2)地域文化普及啓発事業

①港北区

1.4 区をめぐる小机城ガイドツアー（全5回）

10月30日、11月27日、12月11日、1月22日、2月26日実施

→延べ参加者数 137名

小机城をはじめ地域の城跡をめぐる現地説明会を実施しました。

2. 「小机の重政」4区巡回上映会（全5回）

11月3日、11月19日、11月28日、12月3日、2月5日実施

→延べ参加者数 89名

神奈川県立工業高校デザイン科の生徒によるアニメーション作品

「小机の重政」の4区巡回上映会を実施しました。

3. 秋の陣～チャンバラ合戦＋小机城クエスト

12月4日実施 80名

身体を動かして楽しみながら地域の歴史に触れてもらうことを目的として、

大人も子どもも一緒に楽しめるチャンバラ合戦を開催しました。

実際に小机城址での空堀からの攻めと守り、長槍での戦い方などを盛り込んだ合戦としました。

②緑区

1. 地域の土を使った絵画の巡回展示

大倉山記念館：11月3日～11月6日 横浜市民ギャラリーあざみ野：1月8日～1月27日

令和3年度に「よこはま縁むすび講中」の活動で制作した土絵3点を作家による解説とともに修復・加筆し、大倉山記念館および横浜市民ギャラリーあざみ野で展示しました。

2. 大山街道を往く～旧長津田宿と長津田十景

http://yokohama-enmusubi.jp/report/yokohama-culture-series_02.html



上映会

◆参加者の声：高校生が制作したアニメだとは思えない。素晴らしい。小机城の歴史などを上映の前に講演してもらったお陰でアニメが楽しめました。

チャンバラ合戦



10月10日実施 20名

NPO 法人神奈川区いまむかしガイドの会と実施し、長津田の歴史的・景観的な見どころスポットを巡りました。

◆参加者の声：説明を聞きながら歩いているうちに、昔にタイムスリップしたような不思議な感覚になりました。立派なお寺や神社がこんなに多い場所だとは意外でした。有意義な時間でした。

③青葉区

1.あざみ野カレッジ 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション ステレオ写真探訪

2月11日実施 21名

ステレオ写真は、異なる位置から撮影した2枚の写真を専用のビューワーで立体視するものです。本講座では、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの中から選りすぐりのステレオ写真を紹介しました。

2.外国語を母国語とする親子フリースクール

2月14日実施 6名

日本語文章に慣れていない外国語を母国語とする方々のために「外国語を母国語とする親子フリースクール」を実施しました。外国語を使用して親子で体験できるプログラムを開催し、同時に外国語を母国語とする近隣住民の要望を調査します。言葉の壁を感じながらも、自由に遊べる場がよかったという声が聞かれました。



フリースクール

3.リサイクルアート小学校ワークショップ

1月18日・19日実施 73名（5年生2クラス）

SDGsの観点からリサイクルの思想が広がりつつあります。リサイクルアートを通じて社会と個人の関わり方を子どもたちと考える講座を開催しました。作品の素材となっているのは送配電システム会社の工業部品（横浜市青葉区の古河電工パワーシステム提供）で、電柱の上や大型の送電線の上に設置され、普段は目にしません。部品に実際に触れ、それを作品にすることで、目に見えないインフラが自分たちの社会を支えていることを実体験できるプログラムです。

④都筑区

1.かやぶき屋根プロジェクト（全8回）

6月19日、7月30日、8月27日、10月22日、11月23日、
12月10日、2023年1月21日、2月5日実施 延べ参加人数60名
横浜市歴史博物館が管理する弥生時代の集落跡、



国指定史跡大塚・歳勝土遺跡公園内に復元された茅葺屋根建物8棟の修繕を、市民ボランティアと共に茅や茅葺屋根の特性、地域の歴史について学びながら実施。茅葺屋根や茅について何も知らなかったが実際に見て触ってみることで多くのことを知ることができたという参加者の声もありました。

2.区内ものづくり企業によるものづくり体験

<http://yokohama-enmusubi.jp/report/tateana-movie.html>

1月22日実施 12家族36名



都筑区はいわゆる「まち工場」と言われる中小の製造業が多く、どの企業も高度な技術や独創的な製品を持っています。今回のWSでは、そんな地域企業から出る廃材を使用し大塚遺跡の復元住居を作成する、今と昔が連携した取り組みを実施しました。

◆参加者の声：とても楽しかったです。秘密基地をイメージして作りました。サッカーグラウンドを脇に作りました。竪穴住居に車輪をつけました。など